

# 平成18年度 定期作況報告

(5月20日現在)

北海道立中央農業試験場

# 水稻の部

水田・転作科(岩見沢市)

## I 気象概況

本年は積雪が多く、4月上中旬は気温が低く経過したため根雪終日が平年より5日遅れた。

4月下旬:平均気温は平年より1.5℃低く、降水量は平年の83%、日照時間は平年の83%であり、低温・寡照に経過した。

5月上旬:平均気温は平年より0.4℃低く、降水量は平年の97%、日照時間は平年の132%であり、多照に経過した。

5月中旬:平均気温は平年より1.6℃高く、降水量は平年の84%、日照時間は平年の159%であり、高温・多照に経過した。

以上、1ヶ月を通じて平均気温は平年より0.1℃低く、降水量は平年

4月下旬～5月中旬気象表

項目	4月下旬			5月上旬			5月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	11.3	13.7	△ 2.4	15.2	14.7	0.5	19.5	16.5	3.0	15.3	15.0	0.4
最低気温(℃)	3.0	3.5	△ 0.5	3.6	4.8	△ 1.2	7.2	7.0	0.2	4.6	5.1	△ 0.5
平均気温(℃)	7.1	8.6	△ 1.5	9.4	9.8	△ 0.4	13.4	11.8	1.6	10.0	10.1	△ 0.1
降水量(mm)	11.0	13.2	△ 2.2	41.0	42.4	△ 1.4	26.5	31.5	△ 5.0	78.5	87.1	△ 8.6
日照時間(hr)	48.3	58.3	△ 10.0	83.1	62.8	20.3	95.1	59.7	35.4	226.5	180.8	45.7

注) データは「アメダス岩見沢」を使用。平年値は平成8～17年の10ヶ年平均値を農試が算出し、使用。

最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、日照時間は期間内の積算値を用いた。

季節表

年次	初霜 (年.月.日)	降雪始 (年.月.日)	根雪始 (年.月.日)	根雪終 (年.月.日)	降雪終 (年.月.日)	耕鋤始 (年.月.日)	晩霜 (年.月.日)
本年	H17. 10.19	H17. 10.25	H17. 11.12	H18. 4.14	H18. 4.18	H18. 5.8	H18. 5.3
平年	10.19	10.26	11.27	4.9	4.18	4.28	5.1
比較	0	△1	△15	5	0	10	2

注) 霜および雪は岩見沢測候所の観測値を使用した。

平年値は前10か年の平均値を用いた。降雪終、晩霜の本年値は5月20現在の日付。

## II 作況

### 水稻 作況:平年並

事由:本年は根雪終日が5日遅れ、また降雨により圃場の乾燥が進まなかったため耕鋤始日は平年より10日遅れた。播種は平年より1日早い4月19日に行った。4月下旬の低温により出芽まで8日を要し、かつ不揃いであった。5月上旬は日射量が多く、さらに中旬は好天に恵まれ、苗の生育は回復した。移植は平年より1日遅い5月22日に行った。移植時における苗質は、「きらら397」では草丈が平年より高く、茎数は平年並、主稈葉数は多かった。また「ほしのゆめ」では草丈は平年より低いものの茎数、主稈葉数ともに多かった。しかし移植が1日遅れたことを考慮すると、苗の生育は平年並と考えられる。

以上により、現在の作況は平年並みである。

品種名	栽培方法	草丈(cm)			茎数(本/個体)			主稈葉数(枚)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
きらら397	中苗紙筒	10.5	10.0	0.5	1.1	1.1	0.0	3.5	3.3	0.2
ほしのゆめ	中苗紙筒	10.4	10.9	△ 0.5	1.4	1.1	0.3	3.5	3.1	0.4
ななつぼし	中苗紙筒	10.2	-	-	1.1	-	-	3.3	-	-

注1) 平年値は前7か年中、平成15年(最凶)、16年(最豊)を除く5か年平均。

注2) 本年度より「ななつぼし」(中苗紙筒移植栽培)の調査を開始した。

# 畑作の部

畑作科(長沼町)

## I 気象概況

平成17年

9月：気温は全般にやや高く、降水量は上旬が多く中下旬は少なく、日照時間は上旬が少なく中・下旬はやや多かった。

10月：気温はやや高かった。降水量は上・下旬でやや少なかった。日照時間は上・中旬が多かった。

11月：気温は上旬が高く、中・下旬がやや低かった。降水量は上・下旬が少なく、日照時間はほぼ平年並であった。初霜は平年より17日遅い11月6日で、降雪始は平年より9日遅い11月9日であった。

12月：気温は中・下旬が著しく低かった。降水量は少なく、日照時間は上旬でかなり多く、中旬がやや少なかった。根雪始は平年より8日遅い12月11日であった。

平成18年

1月～3月：気温は1月上旬から2月上旬にかけて低く、2月中旬～3月上旬は著しく高く、3月中下旬はやや高めに経過した。降水量は3月下旬が特に多かったほかは平年並みからやや少なめであった。日照時間は全般に少なかった。

4月：根雪終は平年より6日遅い4月11日で、積雪期間は平年に比べ3日短い121日であった。気温は低く経過した。降水量は全般に多くで、日照時間は全般に少なかった。耕鋤始は平年に並の4月18日であった。

5月：気温は上旬がやや低く、中旬は高かった。降水量は上・中旬ともに少なく、日照時間は平年より多かった。

道立中央農試(アメダス長沼)

年月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平成17年 9月	上旬	19.3	19.0	0.3	24.6	23.4	1.2	14.3	15.1	△0.8	82.0	35.2	46.8	2.0	4.3	△2.3	40.2	51.1	△10.9
	中旬	18.0	17.0	1.0	22.6	21.4	1.2	13.5	12.5	1.0	23.0	41.5	△18.5	3.0	3.7	△0.7	54.9	46.7	8.2
	下旬	15.4	15.0	0.4	20.5	19.9	0.6	10.4	10.1	0.3	22.0	46.1	△24.1	4.0	4.2	△0.2	56.3	49.5	6.8
10月	上旬	13.1	12.8	0.3	18.0	17.5	0.5	7.6	8.1	△0.5	27.0	40.0	△13.0	5.0	4.1	0.9	54.5	42.6	11.9
	中旬	12.6	11.1	1.5	17.8	15.9	1.9	6.7	6.0	0.7	30.0	29.7	0.3	3.0	3.7	△0.7	67.6	46.3	21.3
	下旬	9.7	9.1	0.6	14.2	13.6	0.6	5.2	4.3	0.9	31.0	37.1	△6.1	5.0	4.9	0.1	45.8	46.5	△0.7
11月	上旬	8.7	6.4	2.3	13.6	10.4	3.2	3.8	2.0	1.8	7.0	21.1	△14.1	3.0	4.7	△1.7	35.4	37.0	△1.6
	中旬	1.2	3.3	△2.1	4.8	7.1	△2.3	-2.1	-0.8	△1.3	31.0	28.1	2.9	5.0	5.5	△0.5	32.9	28.1	4.8
	下旬	1.5	2.0	△0.5	5.1	5.6	△0.5	-2.0	-1.7	△0.3	1.0	30.2	△29.2	3.0	5.1	△2.1	32.6	31.4	1.2
12月	上旬	-2.8	-2.0	△0.8	1.4	1.4	0.0	-7.0	-5.9	△1.1	13.0	23.1	△10.1	2.0	4.9	△2.9	60.7	30.1	30.6
	中旬	-6.8	-3.4	△3.4	-1.9	0.1	△2.0	-12.4	-7.5	△4.9	9.0	28.2	△19.2	5.0	5.9	△0.9	19.2	29.7	△10.5
	下旬	-8.1	-5.0	△3.1	-3.6	-1.0	△2.6	-13.8	-10.0	△3.8	21.0	26.8	△5.8	6.0	6.5	△0.5	34.8	33.9	0.9
平成18年 1月	上旬	-7.8	-6.2	△1.6	-3.6	-2.0	△1.6	-13.1	-11.6	△1.5	30.0	30.4	△0.4	7.0	5.4	1.6	33.1	31.8	1.3
	中旬	-7.1	-6.6	△0.5	-3.2	-2.6	△0.6	-12.1	-11.9	△0.2	36.0	21.1	14.9	6.0	5.0	1.0	27.0	31.7	△4.7
	下旬	-7.0	-6.9	△0.1	-2.7	-2.6	△0.1	-11.9	-12.1	0.2	7.0	24.6	△17.6	5.0	6.5	△1.5	37.7	41.4	△3.7
2月	上旬	-8.5	-6.2	△2.3	-4.4	-1.9	△2.5	-13.7	-11.4	△2.3	26.0	17.3	8.7	4.0	4.9	△0.9	33.5	42.4	△8.9
	中旬	-3.9	-6.0	2.1	0.4	-1.8	2.2	-10.3	-11.1	0.8	4.0	23.0	△19.0	2.0	5.6	△3.6	43.3	44.0	△0.7
	下旬	-1.6	-4.8	3.2	2.1	-0.4	2.5	-5.9	-10.6	4.7	29.0	17.9	11.1	3.0	4.1	△1.1	41.1	43.1	△2.0
3月	上旬	-0.4	-3.8	3.4	2.8	0.4	2.4	-5.1	-8.9	3.8	5.0	18.7	△13.7	5.0	4.8	0.2	43.7	52.0	△8.3
	中旬	-0.5	-1.0	0.5	2.9	2.6	0.3	-4.5	-5.2	0.7	8.0	12.9	△4.9	3.0	4.5	△1.5	33.7	51.6	△17.9
	下旬	2.1	1.2	0.9	5.4	4.9	0.5	-1.0	-2.9	1.9	56.0	19.5	36.5	4.0	4.7	△0.7	44.7	57.5	△12.8
4月	上旬	1.1	3.6	△2.5	4.5	7.9	△3.4	-2.2	-0.6	△1.6	14.0	8.8	5.2	4.0	3.2	0.8	48.2	52.1	△3.9
	中旬	5.1	6.2	△1.1	9.4	10.7	△1.3	1.6	1.8	△0.2	32.0	15.5	16.5	4.0	3.0	1.0	33.3	49.2	△15.9
	下旬	6.9	8.2	△1.3	11.3	13.2	△1.9	3.0	3.4	△0.4	22.0	13.2	8.8	2.0	3.0	△1.0	37.8	51.4	△13.6
5月	上旬	8.8	9.3	△0.5	14.9	14.1	0.8	3.2	4.7	△1.5	13.0	37.8	△24.8	2.0	4.3	△2.3	86.5	53.1	33.4
	中旬	13.0	11.1	1.9	19.3	15.9	3.4	7.1	7.0	0.1	16.0	33.5	△17.5	4.0	3.7	0.3	81.6	46.8	34.8

注1) データは「アメダス長沼」を使用。平年値は平成7年9月～平成17年5月の10年間を用い、中央農試で算出した。

なお、平成16年までは確定値、平成17年からは速報値を用いた。

確定値の最高・最低気温は、平成15年1月より測定法が変更されている。(毎正時→10分計)

注2) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値を用いた。

季節表

年次	初 霜 (年.月.日)	根 雪 始 (年.月.日)	融雪剤根雪終 (年.月.日)	通常の根雪終 (年.月.日)	積 雪 期 間 (日)	耕 鋤 始 (年.月.日)	晩 霜 (年.月.日)
本年	H17. 11.06	H17. 12.11	H18 04.07	H18. 04.11	121	H18. 04.18	H18. 05.07
平年	10.20	12.03	03.31	04.05	124	04.18	04.30
比較	17	8	7	6	△3	0	7

注) 初霜、根雪始の平年値は中央農試における平成7年～16年、根雪終、耕鋤始、晩霜の

平年値は中央農試における平成8年～17年の10年間の平均値を用いた。

積雪期間の平年値にはうるう年を含むため、根雪始・終の差と一致しない。晩霜の本年値は5月20日現在の日付。

## II 作況

### 1. 秋まき小麦 作況：平年並

事由：播種期は平年に比べ2日遅く、出芽期は1日遅れた。越冬前の生育は気温が高めに経過したことから良好であった。根雪始は平年より8日、融雪終わりは6日それぞれ遅く、積雪期間は3日短かった。雪腐病による冬損の発生は平年に比べ多めとなった。融雪後は低温傾向に経過したため生育は停滞したが、5月以降の天候の回復に伴い生育も回復し始めている。5月20日現在で草丈はほぼ平年並みで、茎数は平年を上回っているが、茎数の減少時期は平年より遅れている。以上により、現在の作況は平年並である。

品種名	出芽期(月.日)			冬損(0:無~5:甚)			草丈(cm)			茎数(本/m <sup>2</sup> )		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ホロシリコムギ	9.21	9.20	1	2.0	0.9	1.1	49.2	52.1	△0.9	1590	1061	529
ホクシン	9.21	9.20	1	2.4	1.2	1.2	48.8	48.3	0.5	1484	1089	395

注1) 平年値は前7か年中、最凶(H12年)、最豊(ホクシンH15、ホロシリH16)を除く5か年平均(収穫年度)。

2) △は平年より早、短、少を表す。

### 2. 春まき小麦 作況：やや不良

事由：融雪剤使用圃場の根雪終は平年より7日遅い4月7日であった。播種期は平年並の4月18日であったが、播種後の気温が低く経過したため、出芽期は平年より2日遅い5月3日であった。出芽後の5月上旬も引き続き低温に経過したため生育は緩慢であった。5月中旬の高温で生育は回復しつつあるが、草丈は平年並からやや低く、茎数は分けつの発生が遅れているため平年より少ない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

品種名	播種期(月.日)			出芽期(月.日)			草丈(cm)			茎数(本/m <sup>2</sup> )		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ハルユタカ	4.18	4.18	0	5.03	5.01	2	19.4	19.0	0.4	308	515	△ 207
春よ恋	4.18	4.18	0	5.03	5.01	2	19.8	21.3	△ 1.5	323	646	△ 323

注) 平年値は前7か年中、平成12年(最凶)、14年(最豊)を除く5か年平均。

ただし、「春よ恋」の草丈・茎数は前6か年中、平成12年(最凶)、14年(最豊)を除く4か年平均。

### 3. ばれいしょ 作況：やや不良

事由：融雪後の低温多雨のため植付期は平年より4日遅い5月8日となった。植付け後、天候は回復したが5月20日現在で萌芽期に至っていない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

品種名	植付期(月.日)		
	本年	平年	比較
男爵薯	5.08	5.04	4

注) 平年値は前7か年中、平成11年(最凶)、17年(最豊)を除く5か年平均。

## 耕種概要

平成13年度より、すべての作物で土壌物理性・排水性が改良された基盤整備後の圃場を使用している。

	一区面積 (㎡)	反復	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	一株本数	播種粒数 (粒/㎡)	株数 (株/10a)
秋まき小麦	7.2	4	緑肥	30	条播	—	255	—
春まき小麦	7.2	4	緑肥	30	条播	—	340	—
大豆	25.2	3	緑肥	60	20	2	—	8,333
小豆	8.4	3	緑肥	60	20	2	—	8,333
ばれいしょ	10.8	3	緑肥	75	30	1	—	4,444

	10a当たり施肥量(kg)				
	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	MgO	堆肥
秋まき小麦	4.0+6.0	12.5	5.0	—	1,000
春まき小麦	10.0	18.0	12.0	5.0	1,000
大豆	1.5	11.0	7.5	3.5	—
小豆	4.0	19.2	9.2	2.4	—
ばれいしょ	10.4	16.8	14.0	5.0	1,000

## 中央農試作況報告について

当報告は、中央農業試験場のほ場において行った生育調査について、調査時点における値を中央農業試験場の平年値と比較したものであり、当該管内の作況を代表するものではありません。